

場広えごうた 交流広がる

徳島市の団体開設 活動4年目

「うたごえ広場」は高齢者や団塊世代の居場所づくりを目的に、毎月第3土曜日、徳島市昭博ランテア友の会「ひまわり」和町3のヒューマンわーくびあ



障害者も積極参加

徳島で、ボランテアによるオルガン演奏に合わせて懐かしい歌謡曲や童謡などを歌う。

当初の参加者は30人ほどだったが、最近では毎回約60人が明るいうる歌を会場に響かせている。6月にあった3周年記念の会には視覚障害者18人も参加。手づくりの点字の歌詞カードを持参し、青春時代に慣れ親しんだ曲を歌った。初めて参加した視覚障害者の益岡良江さん(82)「鳴門市瀬戸町堂浦」は「雰囲気良く楽しめた。次も来ます」と笑顔で話した。

会場内ではおしゃべりも弾み「月1回の開催が待ち遠しい」「大勢の人と一緒に歌ったり話したりすることで、心身の健康につながる」という人も。夫を亡くして家でふさぎ込みがちだったある女性は、参加してから笑顔を取り戻すことができたという。

ひまわり代表の前田すづ子さん(63)「藍住町矢上」は「続けてきてよかった。喜んでもらえるなら回数をもっと増やしたい」と力を込めた。(山川 幸)

懐かしい歌謡曲や童謡を皆で楽しく歌おうと徳島市のボランテア団体が開いている「うたごえ広場」が4年目を迎え、活動の輪を広げている。高齢者の生きがいづくりにと始めたが、最近では障害者も積極的に参加するように。アットホームな雰囲気の中、誰でも自由に加わることができるのが好評で、主催者側は月1回の開催回数を増やすことを検討している。

懐かしい歌謡曲などを楽しく歌う「うたごえ広場」の参加者＝徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島